SuMPO EPD
タイプⅢ環境宣言 (EPD)
登録番号： JR-AW-24047E-A

SuMPO環境ラベルプログラム
一般社団法人サステナブル経営推進機構
東京都千代田区内神田1-14-8
KANDA SQUARE GATE
https://ecoleaf-label.jp

NIPPON STEEL
日本製鉄

化学工業・ボイラ用低合金鋼シームレス鋼管

Low-alloy Seamless Tubes and Pipes
for the Chemical Industry and Boilers

算定単位

1t

算定対象段階

□最終財　　■中間財

製造段階（原材料調達、原材料の輸送、製品の製造）及び間接影響

製品の型式、主要仕様・諸元

製造サイト：

関西製鉄所 和歌山地区

主な規格：

STBA22、STPA22、T12、P12

STBA24、STPA24、T22、P22

サイズ：

外径6.0mm～406.4mm

肉厚1.2mm～45.0mm

登録番号	JR-AW-24047E-A
適用PCR番号	PA-180000-AW-05
PCR名	鉄鋼製品（建設用を除く）（中間財）
公開日	2025年3月10日
検証合格日	2025年2月19日
検証方式	個品別検証方式
検証番号	JV-AW-24047
検証有効期間	2030年2月18日
PCRレビューの実施	
認定日等	2023年5月10日
委員長	松野 泰也 千葉大学
第三者検証者*	
外部検証員	内藤　壽夫

ISO14025に従った本宣言及びデータの独立した検証

□内部　　■外部

*システム認証を受けた事業体内の検証の場合は、システム認証を行った審査員の名前を記載。

問い合わせ先

日本製鉄株式会社 鋼管事業部 エネルギー鋼管営業部 特殊管室　TEL：03-6867-5989

https://www.nipponsteel.com

SuMPO環境ラベルプログラム
一般社団法人サステナブル経営推進機構
東京都千代田区内神田1-14-8
KANDA SQUARE GATE
https://ecoleaf-label.jp

①ライフサイクル影響評価結果

影響領域	生産+間接影響	生産のみ	単位
気候変動 IPCC 2013 GWP 100a	2900	3900	kg-CO_2eq
酸性化	1.0	2.6	kg-SO_2eq
富栄養化	0.031	0.050	kg-PO_4^{3-}eq

スコープ３やカーボンフットプリントの算定に関しては「⑥-1.その他の環境関連情報」を必ず参照のこと。

内訳 項目	単位	合計	【A1】 原材料調達	【A2】 原材料の輸送	【A3】 製品の製造		【D】間接影響
気候変動 IPCC 2013 GWP 100a	kg-CO_2eq	3.9E+03	8.7E+02	8.8E+01	3.0E+03		-1.1E+03
オゾン層破壊	kg-CFC-11eq	4.8E-06	1.5E-06	5.9E-10	3.3E-06		-1.9E-07
酸性化	kg-SO_2eq	2.6E+00	6.6E-01	9.6E-02	1.9E+00		-1.6E+00
光化学オキシダント	kg-C_2H_4eq	2.7E-02	1.0E-02	1.5E-03	1.5E-02		-2.3E-01
富栄養化	kg-PO_4^{3-}eq	5.0E-02	7.6E-06	5.3E-13	5.0E-02		-2.0E-02

②ライフサイクルインベントリ分析関連情報

項目		単位
非再生可能資源	9.8E+02	kg
非再生可能エネルギー	4.6E+04	MJ
再生可能資源	1.4E+03	kg
再生可能エネルギー	-7.2E+02	MJ
淡水の消費	1.5E+01	m^3

③材料及び物質に関する構成成分

材料・物質（使用部分）		単位
Fe	≧85.0	%
C	≦0.35	%
Si	≦0.50	%
Mn	≦1.06	%
P	≦0.035	%
S	≦0.035	%
Cr	≦2.60	%
Mo	≦1.13	%

④廃棄物関連情報

項目		単位
有害廃棄物	0.0E+00	kg
無害廃棄物	1.4E+01	kg

※ライフサイクルにおける廃棄物量を示しています。

⑤算定結果に関する追加情報

1)間接影響として、JIS Q 20915に基づく鉄鋼材料のリサイクル効果を評価し、本宣言上①ライフサイクル影響評価結果内訳表の(3)間接影響列にその値を記載した。間接影響分は上記の表(1),(2)の合計値に加算される。
計算に使用したリサイクル率は93.7%（計算はJISQ20915に従い、2022年度の国内データ（出典：日本鉄鋼連盟、鉄源協会、スチール缶リサイクル協会）を使用）

2)スクラップの輸送シナリオはPCRに従ったが、スクラップ輸送の積載率はdefault値を使用した。

3)本シート上、③材料及び物質に関する構成成分について、鉄以外は、対象となる鋼材規格の各上限値のうち最大のものを示す。但し、各製品において構成成分における鉄の含有量が85%以下になることはなく、他構成成分の比率が調整される。

4)一次データは、2022年度の実績値を使用した。電力原単位は「電力, 一般電気事業者10社平均, 2014年度」を使用した。

5)石炭と合金類はIDEA原単位に輸送も含まれているため、原材料の輸送による負荷は計上していない。

⑥-1.その他の環境関連情報

ISO14001認定工場で製造している。

[気候変動 IPCC2013 GWP100a」に関する注意：本製品の購入者が、その組織のスコープ３カテゴリー１のGHG排出量を算定する場合や、本製品を用いて製造する製品のカーボンフットプリントを算定する場合には、以下のURLを必ず確認すること。

https://www.nipponsteel.com/product/cfp/certificate.html

（上記URLの内容は、EPDの検証対象外）

⑥-2.有害物質に関する情報

項目	CAS　No.	法令等
マンガン	7439-96-5	労働安全衛生法施行令

⑦使用した二次データの考え方

IDEA v2.1.3 を使用した。また、スクラップ原単位（スクラップ LCI）は原単位登録番号：JP-AJ-0001を使用した。

⑧備考

変更日：2026年4月1日「⑥-1.その他の環境関連情報」に補足説明を追記

●データ算定の方法は、PCRおよび算定・宣言規程を参照してください。

●比較については、算定・宣言規程に規定された条件を満たした場合にしか認められません。

（参照先URL：https://ecoleaf-label.jp/regulation/）